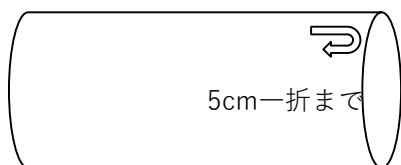


第41回 東京都少年柔道大会（兼、第46回全国少年柔道大会 東京都予選）要項

- 1 主 催 公益財団法人東京都柔道連盟・読売新聞社
- 2 後 援 公益財団法人講道館・全日本柔道少年団
- 3 日 時 令和8年3月1日（日） 開場 8：45 開会式10：00
●7階大道場でチーム毎に順次計量と配列の確認を行う。計量は9：45で終了。
なお、会場では大会の準備を行っておりますので指示に従いアップを行ってください。
- 4 会 場 講道館 大道場 〒112-0003 文京区春日1-16-30
- 5 参 加 資 格 (1) 東京都柔道連盟を通してチーム登録している道場・警察道場・地区体育館及び柔道クラブ等の団体に所属する小学生。
(2) 出場1団体より1チームに限る。
(3) 参加する選手は、原則として「第46回全国少年柔道大会」出場時に 小学校6年生・5年生の男女。
(4) 出場するチームおよび選手は、令和8年/2/11時点で東京都柔道連盟を通して全柔連登録が完了していること。また、選手は出場チームでメンバー登録をしていること。
(5) 参加チームの監督は、全柔連公認指導員資格【C指導員】以上を保有していること。
C指導員以上の資格保有者がチームにいない場合でも、監督としてC指導員以上を保有している者が監督としてエントリーおよび帯同しなければならない。（所属チームが異なっても可）
- 6 チーム編成 (1) チームの編成は、全柔連登録しているチームとし混成チームは認めない。
(2) 1チームの編成は、監督1名、選手5名、補欠2名とし申込後の変更はできない。
(3) 選手の編成は、大将・副将・中堅は新6年生、次鋒・先鋒は新5年生とする。
ただし、下学年の児童が一学年上の児童の位置に出場することはできるが新3年生は出場できない。
その場合も、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。
(4) 選手の変更はエントリーしている補欠からに限り行うことができる。この場合も各学年順に配列し同学年内は「体重順」に配列すること。 ***補欠の補充はできない。**
(5) 計量は入場次第、大道場で行い、計量結果により配列を確認する。
(6) 2戦目以降から、怪我等による選手の変更を認める。ただし、（3）に定められた編成内で配列すること。但し、大会前日及び当日の体調不良及び怪我により出場が困難になった場合は1回戦目から選手交代を認める。
*選手変更により一度退いた選手はその後の試合には出場できない。
*選手変更については、監督が変更前後の配列表を進行・放送席に直ちに届け出ること。
◎大道場の正面に向かって右端の机2台分が「進行・放送席」
- 7 試 合 方 法 (1) トーナメント戦で行う。
(2) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。
(3) 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。
①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
②勝ち数が同じときは内容（「一本」「技あり」「有効」「僅差」の勝ち数）による。
③内容も同じときは代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。
代表戦に出場する選手は「引き分け」の中から抽選で1組を選び通常の3分間の試合を行う。
得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する（GSは行わない）。
8. 審 判 規 定 (1) 国際柔道連盟試合審判規程（2025-2028）及び国内における少年大会特別規程で行う。
(2) 試合時間は、3分間とする。
(3) 勝敗の判定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」※とし、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
※「僅差」とは「指導」差が2をいう。

- 9 計 量 計量は、柔道衣上下（女子はインナーも）を着用し帯を締めた状態で行う。
※申告体重は同様に計測し、少数点以下を四捨五入した整数で申告すること。
- 10 表 彰 (1) 優勝・準優勝・3位（2チーム）の計4チームを表彰する。
(2) 優勝・準優勝・3位（2チーム）の中より優秀選手を表彰する。
(3) 優勝チーム及び準優勝チームを全国少年柔道大会へ派遣する。
- 11 参 加 申 込 (1) 申込締切 令和8年年2月4日（水）23：59
(2) 申込方法 所定の申込みフォームに必要事項を入力の上、下記メールに添付し申込みこと。
申込みアドレス：moshikomi@tojuren.or.jp / 件名：都少年申込み（団体名）
* 申込書はPDF等にせず、**Excelデータのまま**送付のこと。
転記時の入力間違いの防止と業務の効率化のためご理解とご協力をお願いいたします。
申込の内容を確認後、返信メールを送信します。迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、受信できないことがありますので、「@tojuren.or.jp」を受信設定してください。
(3) 参加費 1チーム 5,000円
支払方法：大会当日、チーム受付にて納付のこと。
(4) 問合せ先 東京都柔道連盟 TEL：03-3818-5639 E-mail：moshikomi@tojuren.or.jp
- 12 組 み 合 せ 令和8年年2月10日（予定）都柔連事務所にて主催者が行う。*組合せ公開：2月中旬予定
- 13 保 険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行う。
尚、万一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
(2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
(3) 出場者は「マイナ保険証」または「健康保険資格確認書の資格情報」の写真又はコピーを持参すること。
- 14 そ の 他 (1) 監督は、審判員に準じた服装（背広・ネクタイ着用）を基本とする。
*男性：スーツ・ネクタイ着用（審判員用ネクタイは不可） 女性：スーツ着用
(2) 監督の行為・言動
監督・コーチの役割は所属の選手が会場に入館してから退館までの間、選手の行動に責任を持たなければならない。
*試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ選手に対して指示を与えることができる
*次の行為を禁止する
①試合が進行している最中に指示を出すこと
②対戦相手や所属の選手を侮辱する言動や態度
(3) 柔道衣
柔道衣および女子のインナーは白色のみとする。ただし、成長期を考慮し、今大会に限り
袖・裾の折込は5cm・一折りまで可とする。また、前合わせについては十分な重なりがあること。
認証柔道衣の使用は義務付けない。ただし、製造者マークについては全柔連の規程を遵守すること。



(4) ゼッケン

- ①参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
- ②所属名は『申込み団体名（所属団体）』（省略は可）とする。
- ③ゼッケンを付けていない選手は、失格とする。
- ④ゼッケンの仕様と縫い付け方。
 - a) サイズは横30cm～35cm・縦25cm～30cmとする。
 - b) 布地は白地（晒・太綾）。
 - c) 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。
 - d) 苗字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3。
 - e) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。

図1 ゼッケンの縫付方

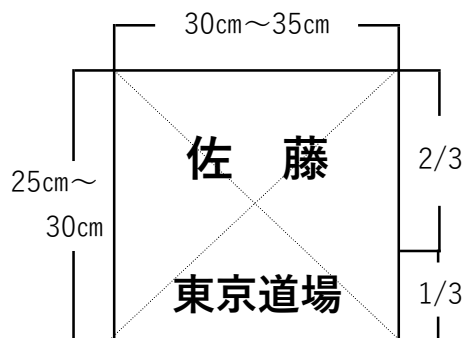
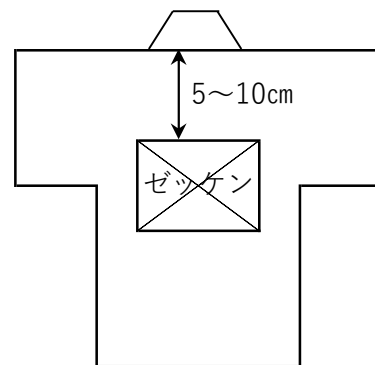


図2 ゼッケンの縫付位置



(5) 髪飾り等

長い髪は束ねること。束ねた髪が長い場合は更に折り返して結ぶなど毛先が相手の目に入らないよう配慮すること。また、怪我防止のためヘアピンやヘアアクセサリは使用しない。
爪は短く切りそろえること。

(6) 脳震盪

- ①大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の治療を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- ③練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(7) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

(8) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱い致します。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合がある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合がある。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。